

# 平成25年度 信州大学農学部 防災訓練プログラム

期日 平成25年10月28日13時00分～14時00分 ※雨天決行

対象 農学部教職員、学生(授業中の学生は初期対応のみ)

本訓練の命令・指揮は、副本部長(三浦副学部長)が行う。

※敬称略

時刻	事項	内容				
10時00分	準備・体育館	準備するものは、「防災訓練準備品」を参照				
12時55分	看板配置	ボイラー室付近に通行禁止の看板を設置				
13時00分	災害発生・訓練開始 避難路確保 二次災害防止 避難開始 非常袋の持ち出し	<p>(大規模地震(マグニチュード7、地震6弱)、雨天、建物の一部損壊及び負傷者有りを想定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常ベルで合図。約30秒間鳴らし続ける。・館内放送 ・机等の下に身を隠し、落下物等から身を守る。・ドアを開け、避難路確保</li> <li>・身近の火気設備、機器類の元栓を閉止、電源を遮断する。</li> <li>①ガス栓の閉止、②部屋の照明機器類(共同使用の電算機、複写機等)の電源遮断、③パソコンの電源遮断、④ドアの開(地震時)閉(火災時)</li> </ul> <p>※災害発生時10分以内に避難すること。</p> <p>・避難経路の安全確認の上、ヘルメットがあれば着用し、避難経路に基づき体育館へ避難する。 (現実の災害では、まずグラウンドに避難し、体育館の安全を確認した後、体育館へ移動する。)</p>				
13時10分	安否確認開始  ↓ 災害対策本部の設置  ↓ 3班任務開始  ↓ 避難完了    各班から本部へ報告    避難訓練終了	補佐	「学生は所属学科・専攻ごとに、教職員は所属班の書かれた看板の前に並んでください。学生班、総括連絡班は、ただちに学生と教職員の安否確認を開始してください。」			
		総括連絡班(清水)		学生班(竹松)		(避難がほぼ完了したら)
		【安否確認・開始】		【安否確認・開始】		補佐
		班長 「総括連絡班、教職員の安否確認開始します。列ごとに名簿を渡すので、自分の名前のところにチェックしてください。」		班長 「学生班、学生の安否確認を行います。列ごとに名簿を渡すので、自分の名前のところにチェックしてください。」		「ここに農学部災害対策本部を設置します。災害対策本部長を学部長、同副本部長を副学部長(事務担当)とします。本日の地震により、建物の一部が損壊し、負傷者が課外活動施設付近にいる模様です。」
		・教職員の安否確認は、各班ごとに並んでいる教職員に名簿を回してチェックし、班員がまとめる。		・学生の安否確認は、学科・学年ごとに並んでいる学生に名簿を回してチェックし、班員がまとめる。安否確認が済んだ学生は、そのまま座って待機。		(総括連絡班から、下記3班の活動者の安否確認が報告されてから)
		※右記3班の活動者を優先し、速やかに補佐に報告する。				補佐 「学生と教職員の安否確認をしている間に、医療・救護班、施設管理・消火班、物品管理班はそれぞれ任務を開始してください。」
		・安否確認が済んだ教職員は、そのまま座って待機。				～～学生・教職員の安否確認をしている間に、下記3班は、それぞれ活動・報告する。～～↓
						医療・救護班(武田)
						施設管理・消火班(神原)
						物品管理班(奥原)
				担架・毛布搬出(本部横の救護所より)		
				【負傷者救助・開始】		
				班長 (副本部長に向かって) 「サークル棟付近に負傷者がいる模様です。医療・救護班〇名は、直ちに救助に向かいます。」		
				副本部長 (班長に向かって) 「了解。医療・救護班出動。」		
				班長 (班員に向かって) 「サークル棟に負傷者の救助に向かいます。〇〇はAEDを取りに行ってください。」		
				※担当者はサークル棟へ向かう。		
				※サークル棟で1名の負傷者を想定。応急救護所から担架を調達し、救助、応急救護所へ移送。AEDを使用した応急救護を行う。負傷者1名(〇〇)は、該当箇所待機。		
				【被災状況の調査・開始】		
				班長 (副本部長に向かって) 「施設管理・消火班〇〇名は、建物、道路等の被災状況の確認に向かいます。」		
				副本部長 (班長に向かって) 「了解。施設管理・消火班出動。」		
				班長 (班員に向かって) 「施設管理・消火班は、建物内外の被災状況の調査、火災の防止に向かいます。」		
				※課外活動施設へ向かう。		
				【調査後、被害状況報告書作成】		
				【備蓄物品運搬・開始】		
				班長 (副本部長に向かって) 「物品管理班〇〇名は、防災物品の運搬のため、備蓄倉庫に向かいます。」		
				副本部長 (班長に向かって) 「了解。物品管理班出動」		
				班長 (班員に向かって) 「物品管理班は、備蓄倉庫へ向かいます。」		
				※準備してある防災物品を設営。		
～～各班、それぞれ状況確認等が終われば、随時報告に入る。～～						
				【教職員の安否確認・報告】		
				班長 (副本部長に向かって) 「教職員の安否報告を行います」		
				【報告例】 総括連絡班 総数〇名 避難確認〇名 内負傷者〇名 副本部長 (班長に向かって) 「了解。」		
				任務終了後待機		
				【学生の安否確認・報告】		
				班長 (副本部長に向かって) 「学生の安否報告を行います」		
				【報告例】 食料生産科学科 総数〇名 避難確認〇名 内負傷者〇名 副本部長 (班長に向かって) 「了解。」		
				任務終了後待機		
				【負傷者救助・報告】		
				班長 (副本部長に向かって) 「医療・救護班、〇名出動、〇名戻り、安否が確認できていなかった学生は、サークル棟で負傷、たぐいま救出しました。」		
				副本部長 「了解。」		
				【被災状況の調査・報告】		
				班長 (副本部長に向かって) 「施設管理・消火班、〇〇名出動、〇〇名戻りました。被害状況を報告します。」		
				【報告例】 建物被害 総合実験実習棟窓ガラス破損、ライフライン 管理棟で電気が使用できない箇所あり、物的被害、火災なし		
				※被災状況はあらかじめ、報告書に記載しておく。		
				副本部長 (班長に向かって) 「了解。」		
				【備蓄物品運搬・報告】		
				班長 (副本部長に向かって) 「物品管理班、〇〇名出動、〇〇名戻りました。防災物品を外に設営しました。」		
				副本部長 (班長に向かって) 「了解。」		
13時30分	DVD講義	補佐	「安否確認と各班の活動報告が終わりましたので、引き続き、災害時の避難・行動についてのDVDを見ていただきます。」			
13時40分	火災時の避難方法指導	補佐	「続いて、伊那消防署〇〇様の指導により、火災時の避難方法についてご指導いただきます。後ほど、あちらのテントで煙の中の避難を体験していただきますので、よく聞いておいてください。それでは、よろしくお願いします。」			
13時50分	本部長講評	補佐	「ありがとうございました。では、災害対策本部長より講評をいただきます。」			
14時00分	訓練終了	補佐	「では、以上で本日の防災訓練を終了しますが、帰りに順番でテントに入っていたら、煙の中の避難を体験していただきます。体育館横では防災物品の設営訓練、生協の南側では放水訓練を行いますので、興味のある方は見学してください。また、12月にAEDの救命講習を行いますので、ぜひご参加ください。なお、出口に今回の訓練に関するアンケートの回収箱がありますので、お帰りの際に記入の上、回収箱へ入れてください。講義棟にも回収箱を用意しますので、ご協力願います。御協力ありがとうございました。」			
終了後	煙体験	伊那消防署員により、煙の中の避難体験指導。(山中・野溝が補助・誘導)				
	放水訓練	富士防災(株)の指導により、施設管理消火班の放水訓練。(見学自由)				
	設営訓練	物品管理班が、防災物品の設営を行う。(見学自由)				
	片付け					